

かさま 社協だより

No.50



編集・発行 2023.4.20

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL https://www.kasama-syakyo.jp/



松山サロン まつぼっくり（松山団地）

撮影 畠山

も く じ

- | | |
|------------------------------------|-----|
| ① 令和5年度 社協事業計画および予算 | 2～3 |
| ② 第9回笠間市社会福祉大会 | 4 |
| ③ 松山サロン まつぼっくり・在宅福祉サービス | 5 |
| ④ 『社協』を知っていますか？その9 | 6～7 |
| ⑤ ボランティアセンターだより | 8～9 |
| ⑥ 募金実績報告・赤十字幼児安全法講習会・ちょっといい話 | 10 |
| ⑦ 善意銀行・寄付者紹介 | 11 |
| ⑧ インフォメーション | 12 |



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

計画および予算

少子高齢社会と人口減少を背景に、核家族化や単身世帯・高齢世帯の増加が地域のつながりの希薄化を進行させています。また、地域での担い手の減少や、人とのつながり、支え合う機能が弱まっています。

それに伴い、多種多様な「困りごと」「生きづらさ」など、生活課題を抱えた市民が増え、従来の福祉制度では対応できない困難な課題が潜在化・深刻化しています。さらに新型コロナウイルス感染症が、これらの課題を一層複雑化させています。

このような状況の中、住民主体の地域福祉活動を推進し、人のつながりの再構築を図る必要があります。また、相談支援・生活困窮者自立支援・成年後見制度の利用促進等により、一人ひとりが自立し、安心して生活できるよう、活動をより一層進めていかなければなりません。

また、笠間市で、第4次地域福祉計画（令和5年度～9年度）が策定されたことを踏まえ、市社協でも、「第4次笠間市地域福祉活動計画」を一年前倒しで策定します。

引き続き、本会の理念である「誰もが安心して暮らせる地域社会」の実現に向け、地域福祉を推進する中核的団体として、住民・福祉団体及び関係者と協力を深め、地域生活課題の解決や、各種事業、法人運営等に積極的に取り組んでいきます。

～地域福祉活動を推進します～

- ①社会経済情勢の変化に伴い、複合的課題が顕在化、深刻化しています。多様化する課題に対応するため、地域住民や関係機関が連携し、地域の様々な主体をつなげ、支え合う地域共生社会の実現を目指します。
- ②また、地域住民が他人事を「我が事」として捉え、地域で「丸ごと」受け止め、主体的に解決できる体制の構築に努めます。
- ③「法人後見受任事業」や「日常生活自立支援事業」をはじめ、援助が必要な方が安心して暮らせる支援体制を整えます。

～ボランティア活動を推進します～

- ①市民一人ひとりが地域福祉に関する理解と関心を持ち、人と人とのつながりを大切にする意識が重要です。
- ②一人でも多くの人が地域福祉の担い手としてボランティア活動に参加し、ともにふれ合い、心を育むことも、今後の課題として重要です。
- ③そのため、各種ボランティア講座の充実とボランティア活動の啓発に努めます。

～在宅生活の自立支援を推進します～

- ①支援を必要とする市民が、周囲から孤立することなく、住み慣れた地域で安心して日常生活を送れるよう、必要な福祉サービスを関係機関と連携して提供します。
- ②各人がその人らしく暮らせるよう、地域での生活支援体制整備に努めます。

～社協体制の強化を図ります～

- ①組織体制の強化と職員の資質向上を図るとともに、安定した法人運営に努め、行政と協力しながら、地域福祉の充実に努めます。
- ②多くの市民から信頼される市社協の活動に努め、各種事業を積極的に遂行するための自主財源確保に努めます。

重点目標

令和5年度

事業協社

1 法人運営事業

- ① 理事会・評議員会の開催及び監査の実施
- ② 正副会長会議の開催
- ③ 部会、委員会等の開催
- ④ 社協会員（法人・特別・一般）の加入促進
- ⑤ 善意銀行事業の推進
- ⑥ 連絡調整及び支援協力の充実に各種会議、研修会の実施及び参加
- ⑧ 指定管理業務等の適正管理
- ⑨ 事務局体制の充実・強化
- ⑩ 福祉人材育成
- ⑪ 第4次笠間市地域福祉活動計画の策定【新規】

2 地域福祉推進事業

- ① 小地域福祉活動の推進
- ② 福祉教育の推進
- ③ ボランティアアセンターの運営
- ④ 配食サービス事業
- ⑤ 広報啓発活動の推進
- ⑥ 相談事業（心配ごと相談・法律相談）
- ⑦ 法人後見受任事業
- ⑧ 資金等貸付事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・特例貸付フォローアップ支援【新規】
- ※資金借受人へ訪問等を実施
- ・小口資金貸付事業

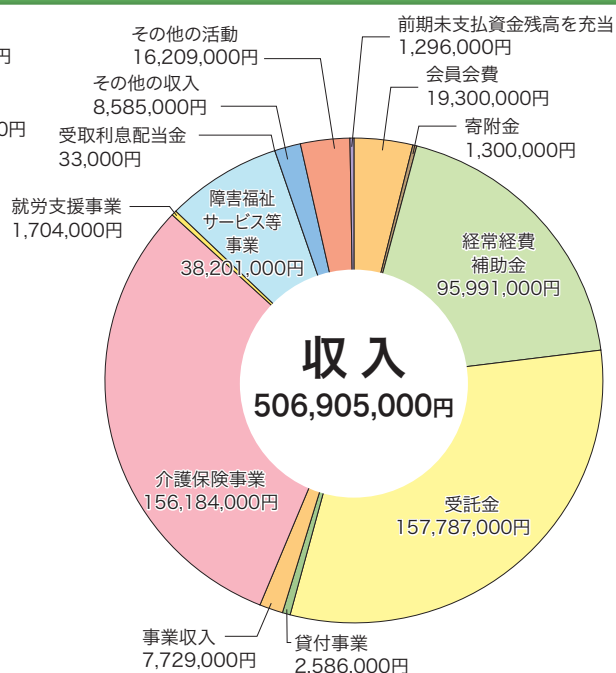
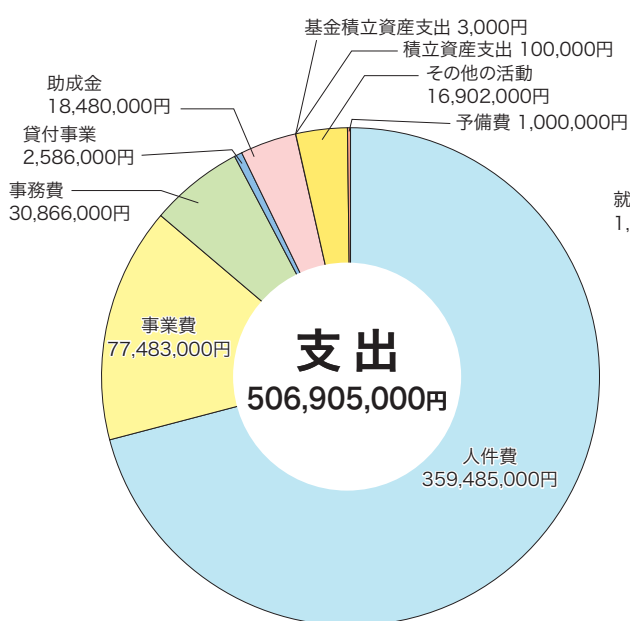
3 受託事業

- ⑨ 介護予防・生活支援サービス事業
- ・いきいき通所事業
- ・ふれあいサポート事業
- ⑩ 就労継続支援B型事業
- ⑪ 特定相談支援事業所の開設に向けた体制整備
- ⑫ ひきこもりサポート事業
- ⑬ 福祉用具の貸出・斡旋
- ⑭ 福祉バスの管理・運営
- ⑮ 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい配分事業の実施
- ⑯ 地域づくり合同研修会
- ⑰ フードバンク活動

4 介護保険事業、障害福祉サービス事業

- ① 地域ケアシステム推進事業
- ② 在宅福祉サービスセンター事業
- ③ 日常生活自立支援事業
- ④ 生活困窮者自立相談支援事業・家計相談支援事業
- ⑤ 手話奉仕員養成研修事業
- ⑥ 生活支援体制整備事業
- ⑦ 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業
- ⑧ 移動支援事業
- ① 居宅介護支援事業
- ② 訪問介護事業
- ③ 訪問入浴介護事業
- ④ 自立支援居宅介護事業

資金収支予算



第9回 笠間市社会福祉大会

ボランティア10団体と個人17人が表彰・感謝を受ける

2月11日、笠間公民館にて、福祉活動にたずさわる皆さんが集い、第9回笠間市福祉大会（2年に1回）が開催されました。前回大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となり、実に4年ぶりの開催となりました。

在宅介護者の会「せせらぎ」

栗林 敏子

ボランティア

すいよう会（友部地区）

オリープの会（友部地区）

つむぎの会（岩間地区）

イベント協力隊（岩間地区）

社協評議員

根本 玄

小沼 弘行

心配ごと相談員

仲村 春美（岩間地区）

支部地区社協

坪来 久子（池野辺支部）

江川 厚子（大橋支部）

鈴木 義雄（東支部）

内桶 道子（東支部）

高野 康司（中央支部）

菊池 三男（大旭支部）

岩田 幸雄（大旭支部）

神 衛（吉岡二地区）

高齡者クラブ連合会

鈴木 早苗

安見 道也

手をつなぐ育成会

新田 久枝

西口 規子

笠間市社会福祉協議会

会長感謝

善意銀行への寄付

阿亀親睦ゴルフコンペ

バザー夢工房

株式会社飯岡工業

有限会社三共金属工業所

小林 千代子

水戸ヤクルト販売株式会社

岩間ライオンズクラブ

（順不同・敬称略）



記念講演 講師 二代目 落語家 林家 木久蔵氏 演題 「木久蔵流 笑うが一番」

父、木久扇から二代目「木久蔵」を襲名して18年。同じ伝統芸能の歌舞伎は世襲が8割・9割、落語家は千人くらいいるが、二代目はおよそ40人、1割にも満たない。笑点メンバーでは、好楽さん、途中で交代した三平さん、昨年亡くなった円楽さん。そして、たい

平さんの息子さんも落語家。「笑う」ことにより、NK細胞（ナチュラルキラー細胞）が活性化されることが分かっている。リウマチ学会に呼ばれたことがある。半分は患者さん、半分は一般の人で、落語をやる前と後に血液を採取した結果、いずれもNK細胞の数値が上がった。

今日は、おおいに笑い、皆さん元気になってください。9月に真打になる林家木りんくんと来た。身長は野球の大谷翔平選手と同じ193センチ。父は大相撲元大関の清國です。

落語家になるには、まず見習いから始め、前座、二ツ目、そして真打となる。前座までの約5年は修業の期間（師匠の命に従い、自由な時間無し）。父木久扇は昭和12年生まれ。今年86歳になる。亡くなった歌丸さんとは1歳違い。

父は胃ガンで胃の4分の3を取り、喉頭ガンにもなり、放射線治療で一時全く声が出なくなつた。3年前には転んで大腿骨を骨折し入院したが、3週間で退院した。本人はいたって元気で常に前向き。

講演後、落語を一席披露。

（藤森）

《落語家 林家 木久蔵氏 経歴》

1975年 9月 東京都出身
1995年10月 玉川大学文学部芸術学科演劇専攻卒業後、林家木久蔵（初代）「現・木久扇」に入門
1996年 2月 前座入り前座名「林家きくお」
1999年11月 ニツ目昇進
2007年 9月 真打昇進に伴い、落語界史上初「ダブル親子襲名」を行い、二代目「林家木久蔵」を襲名する。

ふれあいサロンのご紹介 松山サロン まつぼっくり

友部地区



手作りのおひなさま

代表 向井 清子

松山団地は約30数年前に開発された高台の宅地で住民の高齢化及び孤立が進みつつある中、東日本大震災を経験し、ご近所同士での助け合い（共助）の大切さを再認識し日頃から顔の見えるご近所付き合いの場として、サロン「まつぼっくり」を立ち上げることとしました。

立ち上げに際し、団地の区長さん達に本趣旨を説明し承諾を得ました。

サロン運営に関しては、誰もが参加できるようにシンブルに事務局3人（2年交替）を中心にスタッフとして協力していただける協力会員が3人一組となり毎月順番に担当

するようにしました。

担当者は催しの企画、当日の運営をします。開催日は毎月回覧での案内をしサロン参加者には茶菓子代として百円頂戴しています。

企画に関しては、季節感を大切にして楽しんでいただけるように工夫しました。例えば、一月にはみんなで抹茶をたてていただき、三月はおひなまつり、五月は、恒例の団地公園でのグランドゴルフ大会、夏期は、涼しく室内で音楽鑑賞や、読み聞かせを楽しみ、秋期や冬期は、手作り品の製作や、クリスマスリース作り、お正月飾りを作りました。

年を重ねるにつれ、団地内でも一人暮らしの方が増え、月回のサロンを楽しみにしてくださる方々から帰り際に「今日は一日楽しかったわ！ありがとう、また来月を楽しみにしています」との声をいただく元気が出て、また頑張ろうと思えました。今後の課題としては、男性の方にも参加していただけるような企画も取り入れつつ皆様の集いの場としての、「お茶を飲みながらのご近所付き合い」をモットーに続くことを願っています。



“ありがとう”に支えられて ～在宅福祉サービス～



この事業は「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して暮らせるように、家事や育児・病院への送迎や付き添いなど必要に応じて適切な支援をする有償サービスです。（1時間700円）
この会が発足して29年が経ちますが、長く活動をしている方もいます。自分の空いている時間に活動したり、一人の利用会員さんには3〜4人で関わっているのが無理のないよう調整しています。
現在79人の協力会員が活動しています。（関）

♥家事支援サービス

この活動をし年数を重ねて人生の先輩に出会うことは、私の行く道と思っています。今、週に1度、掃除に行く利用会員宅があり、一人暮らしで病はあるものの、その日を心待ちにしてくれています。掃除をしている時「ありがとう、助かります」と言う言葉から謙虚さを教えられるます。そして、「掃除は家がきれいになるけどおしゃべりは何より私の心のクスリ」とおっしゃることに、私が元氣と喜びをいただけます。共有する時間の中で、今日はどんな会話があるかと楽しみもあります。（K）

♥移送サービス

数年前に妻を亡くして一人暮らしの中で、だれかと会話がしたいという思いで入会し、3年が過ぎました。
今、移送サービスに携わり

利用会員さんには、病院への送り迎えの短い時間の中で色々な話を聞かせていただき、とても勉強になります。リフト車での送迎も少し馴れてきたような気がしますので、改めて気を引き締め安全運転を第一に、車イスの固定などしっかりと操作の再確認をし、安心して乗降していただけたらと思います。

この移送の活動は75歳が定年となりますので、あと1年会話を大切にして続けていきたいと思っています。（S）



がんばっています。一緒に活動しませんか

『社協』を知っていますか？

その⑨

～地域福祉グループの仕事～

地域福祉グループは人とのつながりや
顔の見える関係づくりを大切にしています

支部地区社協活動の充実と強化

支部地区社協の皆さんが活動しやすいよう連絡調整をしたり、活動を活性化するための勉強会などを企画・実施しています。



支え合う輪づくり



地域の皆さまと一緒に支え合う
地域福祉活動を推進します！

生活支援体制整備事業

地域の情報を共有したり、課題について話し合いを重ね、皆さんと一緒に暮らしやすい地域を目指しています！



ふれあいサロンの推進



身近で気軽に集まれる場所です。立ち上げの相談や情報提供をしています。



ふれ合う人づくり

ボランティア活動団体への支援



ともに「ふれ合い」心を育むため
講座の充実とボランティア活動の
啓発をします！



ボランティアの人
材育成のため、講
座の企画・準備・
運営を行います。



ボランティアセンターの運営



ボランティア活動につ
いて知りたい、やってみ
たい、ボランティアを依頼
したいなど、ボランティ
ア活動全般の調整をして
います。



安心する地域づくり

いきいき通所事業

利用者の皆さんに楽しく
過ごしてもらえるよう、
季節に合わせたイベント
やレクリエーションを企
画・実施しています。



住み慣れた地域で安心した
日常生活が送れるよう、
自立支援を推進します！



センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、まゆ玉人形つくりで干支のうさを作成。今回で十二支すべて揃い感激とのこと。
大人の「チャレンジ教室」では、包丁研ぎに参加した女性の熱気に溢れていました。
「子育てママ・パパの応援講座」では、手提げ袋・シュールズ袋の作成にママ大奮闘。
チャレンジ！ボランティアスクール2022では、「炊き出し」の実践と「精神的な支援」の大切さを学んだ。
ボラ連の岩間支部交流会と友部支部サークル交流会が、「ポッチャ」を通して、それぞれ交流を深めました。



講師の堤徳郎さん（下郷在住）をかこんで



参加者の声 「今回で12支揃ってうれしい」
「私は卯年なので大切に飾ります」

12/20

まゆ玉人形つくり

地域福祉センターともべ 19人参加

「第二火曜日の会」

高齢者疑似体験



車イス体験



アイマスク体験



赤い羽根
共同募金

2/27

大人の福祉体験

地域福祉センターともべ 14人参加

赤い羽根
共同募金

3/16

大人のチャレンジ教室

地域福祉センターともべ

包丁研ぎ

19人参加

講師 市商工会建設業部会

自分で研ぐことができれば最高

家庭の中では包丁のことは私の役目
自己流ではなくきちんと学んでみたい

私（男性）は和菓子に興味があります
今回どんなものなのかととても楽しみです

イチゴ大福づくり

8人参加

講師 社協栄養士

一度は作ってみたいと思っていました
できあがって感激！
意外とカンタン



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



ボッチャ体験（地域福祉センターともべ）

ボランティア連絡協議会友部支部サークル交流会を実施しました。今回は年齢や障害の有無に関わらずできるスポーツとして「ボッチャ体験」を行い、全部で34サークル（2日間）の皆さんが参加されました。

初めて体験する方が多かったのですが、ルールも分かりやすく、参加者からの声援も飛び交い、とても盛り上がりました。高得点者にはナマステの会のブルーベリージャムが景品として出され大変喜ばれました。

2/15
3/13

ボラ連友部支部 サークル交流会

会員70人の参加で「ボッチャ大会」を開催しました。3コート12チームに分かれ「イベント協力隊」が指導者兼審判になり、笑顔あふれる交流会となりました。



その後、ボラ連会員のみの「ミニバザー」を開催し、多くの方の協力で売り上げをあげることができました。今後のボランティア活動の励みになるような活動していきたいと思っています。

ボランティア

住みよいまちづくり



開会宣言するボランティア

3/11

第二弾

ボッチャ大会及びミニバザー



社会人落語家 万葉亭小太郎さん

2/22

第一弾

楽しく・笑う



ギター漫談 流しのてっちゃん

令和4年度

ボラ連岩間支部交流会 「笑顔になれる交流会」

チャレンジボランティアスクール2022

「身近な防災を学ぼう！」 地域福祉センターともべ

11/23



炊き出し用袋に
米と水を計って入れる

二部は、社団法人ピースボート災害支援センターの垣貫紀彦さんより、災害が起こった場合の支援活動や、実際に被災地での活動で感じたことを写真を交えて詳しくお話しいただきました。参加者の感想からは、被災者への精神的な支援が大切であることや災害支援に対して「私たちでも何かできるんだ」という意識が芽生えた研修となりました。

防災をテーマに、中学生3人、高校生6人、関係者1人が参加した「チャレンジボランティアスクール2022」が開催されました。一部は、災害救援ボランティア「友援の会」の指導で、非常食の炊き出し訓練を行いました。貴重な経験となりました。



3/2(木) 4人参加

3/9(木) 5人参加



子育てママ・パパの応援講座

地域福祉センターともべ
講師 バザー夢工房5人



社協会員会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

皆さまのご協力ありがとうございました

令和5年3月15日現在



社協会員会費
総額 19,319,500円

赤い羽根共同募金
総額 10,464,707円

歳末たすけあい募金
総額 8,772,903円



配食弁当作り



街頭募金ボランティア



募金してくれた兄弟



胸骨圧迫のやり方を学ぶ

日本赤十字社茨城支部と笠間市社協のコラボによる「幼児安全法講習」が、2月28日午後1時30分から地域福祉センターともべで行われた。講師は幼児安全指導員の磯部氏他2人。また受講者は子育て中のママ・パパ14人。講習会は子どもに起きやすい病気の予防等について説明がなされた後に、ストックキングとバンダナを使った応急処置の実技を行う形で進められた。変化の大きい2歳位までの子どもに起きやすい事故として交通事故、溺水、窒息、転倒や転落等があり、これらを防止するには、まず親が子どもの特徴を知ること、また、周囲の環境を見直すことで予防につながるのとことであった。

2/28
幼児安全法講習会
地域福祉センターともべ



託児の様子

実技は、怪我を想定したもので、頭や手からの出血、腕を骨折した時の対処法等を2人一組になって行った。

なお、子どもの生命に係わる大きな事故が発生した場合の対処手順として①様子を見る②名前を呼ぶ③119番に電話をする④呼吸の確認をする、呼吸をしていない時は救急車が到着するまでの間、胸部を押す胸骨圧迫とマウスツウマウスによる気道確保を交互に繰り返すこと、が紹介された。

幼児安全法講習は、オンラインでも行っており、パソコンやスマホから「日赤茨城講習」を検索して貰いたいとのコメントを以て終了した。

今回受講者へのアンケートによると「分かり易かった」との声と共に「託児付きならボランティアにも参加したい」との声があったことを付け加えておきます。

(白土)



ちよっといい話

前回は、誰もが住みやすい笠間シティの「ダイバーシティ(多様性)」を説明しました。今回は、より進んだ「インクルージョン(包括性)」についてご紹介いたします。これは、人種や性別、障がいや疾患、年齢などが異なる前提で、安心して居場所を感じられる地域や社会を共につくることを指します。

社会的に弱い立場にある方であっても、すべての人が公平に社会参加すれば、社会はもっと良くなります。逆説的に言えば、より良い変化を起こすために、大多数とは異なる立場からの意見や視点、つまり多様性が必要となるのです。それには、互いが異なることを知り、差別や偏見を無くす努力が必要です。コロナ禍により、社会は変容し分断しました。私たちは、過去にすぎたのではなく、この苦難を活かし再生できると信じています。

(入江)



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和4年11月1日～令和5年2月28日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など



岡野けい子
小林征児
酒井謙治
富田桂子
仲村照子
額田義文
村田比呂志
山本美子
吉田寿治
不動院
イチカワユニオン岩間支部
伊藤次夫税理士事務所
入澤法律事務所
(有)笠間給食センター従業員一同
笠間広域森林組合
(株)笠間ソフトメン橋本屋
(株)常陽銀行笠間支店
泰栄電器(株)
(株)ダイナム
(有)鍋屋本店

真知美容室
水戸ヤクルト販売(株)
明治安田生命笠間営業所
森田屋 入江勇太
(有)菅谷葬儀社
芳野工業(株)
みなみ学園義務教育学校
岩間中学校
笠間中学校
友部第二中学校
岩間第一小学校
北川根小学校
稲田小児童クラブ
岩間第一小児童クラブ
岩間保育園
大沢保育園
おしのべ保育園
みか保育園
すみれこども園
大成学園いなだこども園
めぐみこども園
岩間第一幼稚園
こじか幼稚園
ともべ幼稚園

ガールスカウト茨城県第30団
更生保護女性会岩間支部
更生保護女性会笠間支部
更生保護女性会友部支部
上郷産こしひかり
高齢者クラブ旭台睦会
土師地区社会福祉協議会
常陸農業協同組合
日吉町区
県立中央病院
(施設課・消毒室・リネン室)
小規模多機能型居宅介護事業所
ゆりのき
(福)木犀会 ひまわり館
庄司弘一(故)
匿名(1件)



金 銭

打越政敏	3,333円
河本昭三	30,000円
(有)三共金属工業所	300,000円
民生友の会	5,481円
市川藤一(故)	414,752円
匿名(10件)	208,824円

2社と1個人から寄贈いただきました。ありがとうございました。



(有)三共金属工業所様より寄附金



河本 昭三様より寄附金



水戸ヤクルト販売(株)様より
体温計付きアルコール噴霧器 2台

トルコ・シリア地震義援金



笠間市スクエアステップリーダー会の皆様から
義援金4万円を預かり、市役所へお届けしました

赤い羽根共同募金ポスター優秀作品のご紹介

赤い羽根
共同募金

市内の小・中学生応募者167人の中から優秀作品として4人が選ばれました。おめでとうございます。
優秀作品は令和5年度、市内の赤い羽根共同募金運動の啓発用ポスターとして活用させていただきます。



小学生
低学年の部

岩間第一小学校2年 小林 樹里



小学生
中学年の部

岩間第一小学校4年 平沢 華奈子



小学生
高学年の部

笠間小学校6年 河原井 颯



中学生の部

笠間中学校1年 小松崎 悠花

豊富な栄養と安定した価格で食卓には欠かせない卵が、ここに来て異常な値上がりを見せている。その影響はあらゆる食品へ波及している。フードロスに協力し買い物をしても、物価の値上がりを痛切に感じる。「困った」「困った」。

社協だよりが発行されて今回で50号（平成18年12月20日1号発行）コロナとたたかって3年。コロナ禍でも地域のコミュニティを支える社協だよりを届けることができた。

3/3からはマスクの着用は「個人の判断に委ねる」とされたが、花粉が飛んでいるのでマスクは外せない。（埴）

編集後記

心配ごと相談所日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください（無料・秘密保持）
時間：13:00～16:00（受付は15:30までをお願いします）

	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわみ [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
5月	9日・23日	10日・24日	18日
6月	13日・27日	14日・28日	1日・15日
7月	11日・25日	12日・26日	6日・20日
8月	8日・22日	9日・23日	3日・17日

※その他、法律相談もあります。事前に心配ごと相談へご相談ください。



SNSの
ご紹介



公式 HP

